

2016年10月度 活動報告

10 月	2日	うつのみや食育フェア
	3日	日生協 MCA 無線訓練
	6日	消費者リンク座談会
	11日	理事会 監事会
	13日	第15回食品安全フォーラム
	17日	とちぎ消費者リンク事務局会議
	18日	第2回理事・幹部職員定期学習会
	21日	理事長専務会議
	23日	とちぎ協働まつり
	25日	栃木放送番組審議会 とちぎ消費者カレッジ（宇都宮大学）
	26日	とちぎ消費者リンク第2回理事会
	27日	食と農をつなげる会第2回事前打合せ会
	28日	行政生協関係者連絡会
	29日	いわき四倉お茶会
31日	奨学金問題学習会	

【10月度の振り返り】

◇機関運営

11日(火)第4回定例理事会・監事会
 21日(金)理事長専務会議
 27日(月)食と農をつなげる会第2回事前打合せ(くらし部会)

◇行政関係

2日(日)うつのみや食育フェア
 23日(日)とちぎ協働まつり

◇ネットワーク活動

13日(木)第15回食品安全フォーラム
 25日(水)とちぎ消費者カレッジ（宇都宮大学）

◇被災地支援、防災

3日(火)生協 MCA 無線訓練
 29日(土)いわき市四倉仮設住宅でのお茶会

◇学習会

18日(火)第2回理事・幹部職員学習会(経済)
 31日(月)奨学金問題学習会

◇その他

6日(火)消費者リンク座談会
 17日(水)とちぎ消費者リンク事務局会議
 26日(水)とちぎ消費者リンク第2回理事会
 28日(金)行政生協関係者連絡会

以上

県連活動

1. 機関運営

● 10月11日(火)第3回定例理事会を開催しました。

議題は、報告承認事項として、8～9月度の活動及び決算報告の件、「給付型奨学金制度の創設等を求めるアピール」への賛同団体登録の件、協議決定事項として、次月度以降の取り組みの件(定期学習会の計画、理事長専務会議の次第、福祉部会再開、協同組合交流会の開催、ハンドインハンド、2017年賀詞交歓会、沖縄研修視察企画)、財政検討委員選任の件、経理規定一部改定の件、報告事項として、日生協中央地連報告と会員報告がありました。議題は全て承認されました。

● 10月21日(金) 2016年度の理事長専務会議を開催しました。

今回は、鳥取県境港市に本社を置く、水産品加工会社「井ゲタ竹内の常務取締役・竹内 周様」にご講演いただきました。演題は「モノづくりの極意、人づくりの哲学」。
特にもずくの加工で草分け的な企業ですが、戦地より帰還した創業者の想い「世の中のためになる仕事をしたい」から始まり、現在へと続く経営の理念についてお話しいただきました。

生産者と企業の一般的な関係「高く売りたい」「安く買いたい」を脱し、消費者が喜ぶものとともに作る、という所に視線を合わせれば好循環が生まれるとのお話しが印象的でした。

近年は、生産者の沖縄の恩納村漁協と力を合わせ、珊瑚礁保護活動にも取り組まれ、この9月に環境大臣賞を受賞されています。



● 10月27日(月)、くらし部会では「食と農をつなげる会第2回打合せ会議を行いました。」

今年度は12月19日(月)13時20分より、「宇都宮大学教育学部 住環境・まちづくり研究室 教授 陣内 雄次 氏」に講師をお願いし、より良い地域づくりのために何ができるか、講演会と分散会交流を行う予定です。

2. 県連学習会

● 10月18日(火)第二回 理事・幹部職員定期学習会を開催しました。

前回に引き続き、高崎経済大学教授・矢野 修一氏に講師をお願いし、「日本の経済の現状と展望 第二回」を行いました。

国の根幹をなす、重要な要素の1つ「経済(政策)」について、具体的な資料・事例を元にわかりやすくお話しいただきました。参加者は、経済と普段の暮らしが密接に関わっていることや、国が進む方向について等、深く学べる機会となりました。



- ・ 経済を知るとは日本の方向性を知ること、私たちの暮らしにどのような影響があるのかといった全てのことが、くらしの土台であることを改めて感じる機会となりました。
- ・ 軍事の問題、生活、TPP、全てが経済と離しては考えられないことなので、組合員さんの暮らしの安全安心を守ることや平和を守ること、全てに関わるのだと思います。
- ・ 日本の報道の自由度72位(先進国最下位)ということで、どれだけ情報公開されているのか分かりませんが、限られた情報の中でもアンテナを立て、知る姿勢が大切であると感じました。
- ・ たくさんある報道・情報を、多面的に見る・考えることを習慣付けていかなければならないと痛感しました。
- ・ 難しい問題でしたが、わかりやすく講義され、多くの事を学ぶことができました。

● 10月31日(金)、くらし部会主催で、奨学金について学習会を行いました。

演題:奨学金に苦しむ若者たち

～貧困の連鎖を断ち切るために～

講師:とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏
先の国会でも取り上げられましたが、奨学金が引き起こす貧困の連鎖や、日本の教育システムのひずみ等、この問題に詳しい小倉弁護士より、判例等も用いてわかりやすく教えていただきました。参加者は70名でした。



3. 行政関係

- 10月2日(日)、第11回うつのみや食育フェア～宮っこ 食べっこ 元気っ子～に参加しました。(スタッフのべ23名)

当日は天候に恵まれ、会場となった宇都宮城址公園は親子連れも多く、生協連のブースでは、地域3生協がパネル展示と食育クイズを行い、回答者にクリアファイルを配布しました。400枚用意したクイズは昼過ぎに終了し好評でした。



食育フェア展示のテーマ	
◎生活クラブ生協・・・テーマ：「遺伝子組み換え」	
◎よつ葉生協・・・・・・テーマ：「こまごわやさしい」	
(その他：新聞記事…20歳代男性の2割が米を1ヶ月課間食べていない)	
◎とちぎコープ生協・・・テーマ：「野菜に関する意識調査アンケート結果」	
Q1. 日本人一人が年間に消費する米の量はどれくらいでしょうか？	
①約50キログラム ②約70キログラム ③約100キログラム	
Q2. 一日当たりの野菜摂取目標量はどれくらいでしょうか？	
①150グラム ②350グラム ③550グラム	
Q3. 遺伝子組み換え作物を作らない地域のことをなんというでしょう？	
①GMOスーパーゾーン ②GMOフリーゾーン ③GMOグリーンゾーン	
(GMOフリーゾーン=遺伝子組み換え作物拒否地域)	



- 10月23日(日)、栃木市で開催されたとちぎ協働祭りに参加しました。

市民、NPO、ボランティア、行政、企業の協働を目指し、お互いに理解・交流を深めること等を目的とし、毎年開催されています。今年度のテーマは「共に」。生協連では子育てエリアに参加協力し、大勢の参加がありました。



4. その他

- 10月6日(木)とちぎ消費者リンクでは、第一回目の座談会を開催しました。

消費者リンクの理事長、理事6名、団体会員の代表者10名が参加し、リンク側からは、とちぎ消費者リンクの活動紹介や適格消費者団体についての説明等を行い、参加団体がリンクに期待すること等の意見を交換し、消費者問題に対する理解を深めました。

また、17日(水)には事務局会議を、26日(水)第2回理事会を開催しました。

- 10月28日(金)行政生協関係者連絡会に専務理事が参加しました。

ネットワーク活動

1. とちぎ消費者ネットワーク

- 10月25日(水)とちぎ消費者カレッジを宇都宮大学にて開催しました。

奨学金を利用して、来春卒業する大学生及び大学院生を対象にした「奨学金返還説明会」に合わせて、奨学金問題をテーマに「消費者カレッジ」を開催しました。演題は、「奨学金も消費者問題！！～返還トラブル予防講座～」奨学金利用者が増加している背景や、延滞を発生させない為の家計管理などについて、小倉弁護士より講演いただきました。

2. とちぎ食の安全ネットワーク

- 10月13日(木) 栃木県と共催し「第15回とちぎ食品フォーラム」を開催しました。

今回のテーマは「HACCP でとちぎの食の安全確保を」とし、165名の参加がありました。

食品の衛生管理手法のひとつである HACCP の導入による消費者へのメリット等について、講演会とパネルディスカッションを行い、HACCPについて関心と理解を深めることを目的に開催しました。



- ・第一部 基調講演
「日本における HACCP 導入の普及推進の取組について」
講師:専務理事 杉浦 嘉彦 氏
HACCP 導入の取組報告
県の報告…保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班 班長 八木沢 和夫 氏
食品事業者の報告…フタバ食品株式会社 常務取締役 斎藤 貞大 氏
- ・第二部 パネルディスカッション
コーディネーター 宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏
パネリスト 基調講演者、HACCP 導入の取組報告者(県・事業者)
消費者…栃木県地域婦人連絡協議会 田仲 則子 氏

被災者支援活動 防災の取り組み

1. 東日本大震災、福島第一原発事故被災者支援の取り組み

- 10月29日(土)、いわき市四倉仮設住宅でのお茶会を開催。(参加者8名、スタッフ10名)

来年3月の仮設閉鎖を前に、それぞれの暮らしも変わり目にきています。隣県に中古住宅を買って出て行かれる方や、年明けに九州の親戚の所に移住を決めた方など、震災だけではなく、原発事故との複合被害を受けたことにより深刻な状況になっているようです。今後のことはあえて話題にしないという方もいらっしゃる中、お茶会ではともに軽食と手芸を楽しまれました。

次回お茶会は12月10日(土)

2. 熊本地震緊急支援募金

- 2000万円を超える募金が集まりました。

6月末までに寄せられた募金(17,673,342円)は、既にお送りさせていただきました。

(内訳: 熊本県生協連へ17,173,342円、大分県生協連へ500,000円)

以降に寄せられた募金の全額(2,697,729円)を、今月、熊本県生協連へ送金致しました。この間の取り組みで、栃木県連へ寄せられた募金総額は、20,371,071円となりました。

3. 防災の取り組み

- 10月3日(火)、日本生協連のMCA無線訓練に参加しました。

11月度の活動予定

	7 日	理事・幹部職員定期学習会
	9 日	Eco テック&ライフ 2016 説明会
	10 日	食の安全ネットワーク全体会 栃木県「とちまる見守りネット」連絡会議 とちぎ消費者リンク検討委員会
	14 日	常務理事会/第4回くらし部会
11月	15 日	消費者ネットワーク幹事会/とちぎ消費者リンク事務局会議/子育てネットワーク会議
	17 日	第一回栃木県HACCP推進委員会/消費者カレッジ(作新学院大学)
	19 日	よつ葉生協祭り
	21 日	パルシステム茨城・機関紙取材(会長理事)
	24 日	震災復興支援交流会/下野新聞取材(会長理事)
	25 日	災害ボランティアネットワーク会議/福祉部会/消費生活安定対策審議会
	28 日	消費者カレッジ(宇都宮大学)/福祉部会
	29 日	中央地連第3回運営委員会